

「かかりつけ医」を 持ちましよう

撮影場所
市立室蘭みなと診療所

「かかりつけ医」とは、日常的な診療や、家族一人ひとりの病気の予防と健康管理のアドバイスを行ってくれる身近な医院や診療所のことです。病状によっては、適切な医療機関を紹介してくれ、いざというときに、とても頼りになる存在です。

あなたの健康状態、持病など包み隠さず話し合える「かかりつけ医」を持つことが安心の第一歩です。

かかりつけ医のしくみ

かかりつけ医は、日ごろの健康管理から、病気の早期発見、初期治療、慢性疾患の治療、経過観察などを行うほか、病状によって、適切な医療機関を紹介しします。「大きい病院のほうが安心」「夜間や休日でも開いていて便利」という理由だけで、総合病院に行くことはありませんか。

総合病院は、入院や精密検査、高度な治療を必要とする、症状が不安定な患者に対して専門的な治療を行うほか、緊急的な処置が必要な救急患者が多数来院します。

また、総合病院には多くの診療科があり、自分の判断で診療科を選択してしまうと、長時間待ったあと、他の科に回されるといった可能性もあります。予約している人の診察が優先されるので、予約していない

人はどうしても長時間待つことになり、そのほか、かかりつけ医からの紹介状がない場合、問診や一般的な検査から始めることになり診察時間が長くなる場合があります。

体の調子が悪いときには、早く診てもらいたいものです。まずはかかりつけ医に相談して、症状にあった適切な医療機関・診療科を紹介してもらいましょう。

かかりつけ医を持つメリット

身近な医院や診療所であるかかりつけ医は、待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単です。食事や日常の健康管理に関するアドバイスもしてくれ、家族の病状・病歴、健康状態も把握していると、もしもの時に素早い対応が可能です。また、入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してくれます。

かかりつけ医を持っている人からは、「総合病院に比べて、落ち着いた診察室でゆっくりとお話することができるのでとても安心です」という声もあります。診察する医師も、長く診ていると「何かいつもと違うな」と患者の変化に気が付きやすいと言います。

また、いつもはかかりつけ医に診てもらっていても、病状によっては、検査の機材などがそろっている総合病院に行かなければならないときもあります。そんなときにも「かかりつけ医が総合病院の予約をしてくれて、何日の何時に何科に行けばいいのかを親切に教えてくれるのでとても助かります」と言います。

事前にかかりつけ医から総合病院に患者の病状を伝えられ、総合病院でもスムーズに受診できるような仕組みができていて、大変便利になっています。

日ごろから医師と積極的に関わり合い、自分に合った「かかりつけ医」を持ちましょう。

2人の専門医を持つと安心です

総合病院にかかっている人も「かかりつけ医」と「総合病院の医師」の2人の専門医を持つことをお勧めします。病状が落ち着いていけば、普段はかかりつけ医で診てもらい、病状が変化したり、特殊な検査が必要な時には、総合病院を受診するというように、2人の専門医を持つと、大変心強い存在になります。

以前は初診から治療が終わるまでを一つの病院で行うのが一般的でした。そのため、総合病院で病状が落ち着いてきた人に地域の病院・医院を紹介すると、「病院に見放された」と考える人もいます。しかし、現在は、かかりつけ医と総合病院が連携し、それぞれの役割に応じた質の高い医療を地域全体で提供しようという考え方が広がっています。

違う病院を紹介したときに患者が不安を抱かないようにするためにも、西胆振地域の医療機関が診療情報を共有するなど連携する取り組みも広がってきており、どの病院でも安心して医療を受けられるようになっていきます。

普段は「かかりつけ医」、そして必要な場合には「総合病院」を利用しましょう。

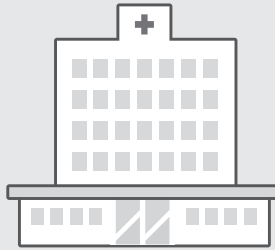
特殊な検査が必要な時や病状が変化した時には、
総合病院を紹介

かかりつけ医 (医院・診療所)



体の調子が悪いときなどの相談先。高度な治療や精密検査が必要な場合は、適切な医療機関を紹介しします。

総合病院



緊急的な処置や高度な医療を必要とする治療、精密検査などを行います。

病状が安定したら、かかりつけ医へ

「かかりつけ医」と総合病院をつなぎます

西胆振地域では、診療情報共有システム I D I Link (アイディ・リンク) を利用して、「かかりつけ医」と総合病院をつなぐ地域医療の連携を進めています。

I D I Link は、地域の参加医療機関をインターネット回線をつなぎ、情報開示医療機関が保有する診療情報の入手を可能とし、医療連携を実現するシステムです。

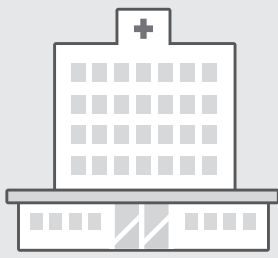
西胆振地域の総合病院では、市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院が情報開示医療機関となっており、また24の病院・医院が情報閲覧医療機関として登録しています(平成23年7月31日現在)。

適切なシステム運用と充実を図るため、I D I Link を利用する病院・医院で「スワネット(西胆振医療情報連携ネットワーク)」を組織しています。スワネットとは、西胆振地域のシンボリック的存在である白鳥大橋の白鳥(スワン)とネットワークを組み合わせた言葉です。

スワネットに参加している病院・医院では、患者の同意書をもとに、本人の薬の処方や検査データ、レントゲン画像などの診療情報を共有できるので、検査や処方などの重複を避けることができ、転院や在宅医療のときも安心です。

かかりつけ医と総合病院が連携することで、それぞれの役割に応じた医療を提供し、地域全体で医療を支えることを目指しています。さらには、医療だけでなく福祉や介護の分野にもネットワークを広げ、地域全体で支える医療体制になることが期待されています。

情報開示医療機関 (総合病院)



市立室蘭総合病院
日鋼記念病院
製鉄記念室蘭病院

メリット

- ・検査データや薬の処方、レントゲン画像など、紹介状(診療情報提供書)では伝えきれない詳細な情報提供が可能。
- ・電子カルテシステムとの連携により、現場に負荷をかけない情報開示を実現。
- ・医療施設間のコミュニケーション活性化による、紹介・逆紹介率の向上を支援。

診療情報を開示

注射、検査、
レントゲンの画像、
検査結果など

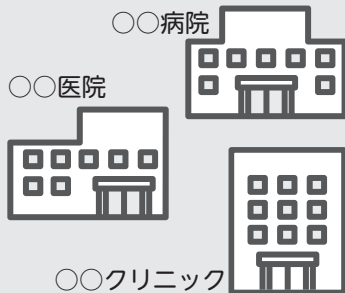
診療情報を入手

同意書

患者

同意書

情報閲覧医療機関 (かかりつけ医)



メリット

- ・紹介患者の診療情報を把握することでより質の高い診療が可能。
- ・専門医に相談する時の情報共有ツールとして活用が可能。

リアルタイムに
患者の情報が
入手できて
便利になりました



いくた内科クリニック
院長 生田 茂夫さん

このシステムに参加することで、患者さまの総合病院で出されていた処方内容や血液検査の結果がリアルタイムで分かるため、薬や血液検査の重複を避けることができます。また、過去の治療の頻度や投薬状況なども分かるので、とても便利になりました。

CT(コンピュータ断層撮影装置)やMRI(磁気共鳴画像装置)、内視鏡などの画像診断の結果も具体的に分かり、紹介状では伝わらないことまで理解できるので、患者さまを総合的に診ることができます。

かかりつけ医として、患者さまがより適切な医療を受けられるようお手伝いします。



診療情報共有システムID-Linkの利用画面

地域の参加医療機関をインターネット回線をつなぎ、
このような画面で診療情報が共有されます。



処方履歴

薬などの処方履歴を日付ごとに表示することができる

【2010/06/25】
医師: 内科 藤本 隆夫
施設: 院内 005119 会計課 橋本

Rp.01 2010/06/25 - 2010/07/01

処方スチモジウム 3錠

1日3回 朝食前 7日

【2010/06/25】
医師: 内科 藤本 隆夫
施設: 院内 005119 会計課 橋本

Rp.01 2010/06/25 - 2010/06/25

硝酸グリセリン40mg(錠剤/1錠) 1錠

1日1回 1錠 寝前投与

画像情報画面

レントゲン画像や超音波画像など、さまざまな画像情報を見ることができる



検査結果

検査データを日付ごとに表示することができる

【2010/05/26】
検査科: 内科 藤本 隆夫
施設: 院内 005119 検査科 橋本

検査項目名称	結果値	基準値
総蛋白	6.6	
アルブミン	3.3	L
総ビリルビン	0.5	
直接ビリルビン	0.0	
間接ビリルビン	0.5	
ア/グ比	0.86	L
ア/グ比	0.86	L
EP-ALB	46.2	L
EP-ALB	46.2	L
EP-a1	9.1	H
EP-a1	9.1	H

【2010/05/27】
検査科: 内科 藤本 隆夫
施設: 院内 005119 検査科 橋本

検査項目名称	結果値
空腹時血糖値	85

《詳細》市立室蘭総合病院地域連携室地域連携係 ☎25-3111